

東京裁判において  
不起訴となった昭和天皇は、  
当時 身近にいた人たちに  
どう思われていたか

C-3-21 實近 香菜美 (大田研究室)



# テーマ設定の動機

大日本帝国憲法上、軍事に関して最高権力を持っていた昭和天皇が東京裁判で起訴されなかったことに、たとえ側近の者であっても少なからず意見を持っていたのではないかと考えたため。



# 昭和天皇について

◎ 温厚な性格

◎ 生物学の研究者

アメリカにあるディズニーランドを  
訪問した昭和天皇



# 昭和天皇が不起訴となったわけ

## ◎日本国民への影響力

⇒「神風特攻隊」の成立

## ◎マッカーサーの占領政策への利用

⇒混乱を防ぎ、効率よく日本人を統治



# 取り上げる人物

近衛文麿



学生時代からの友達

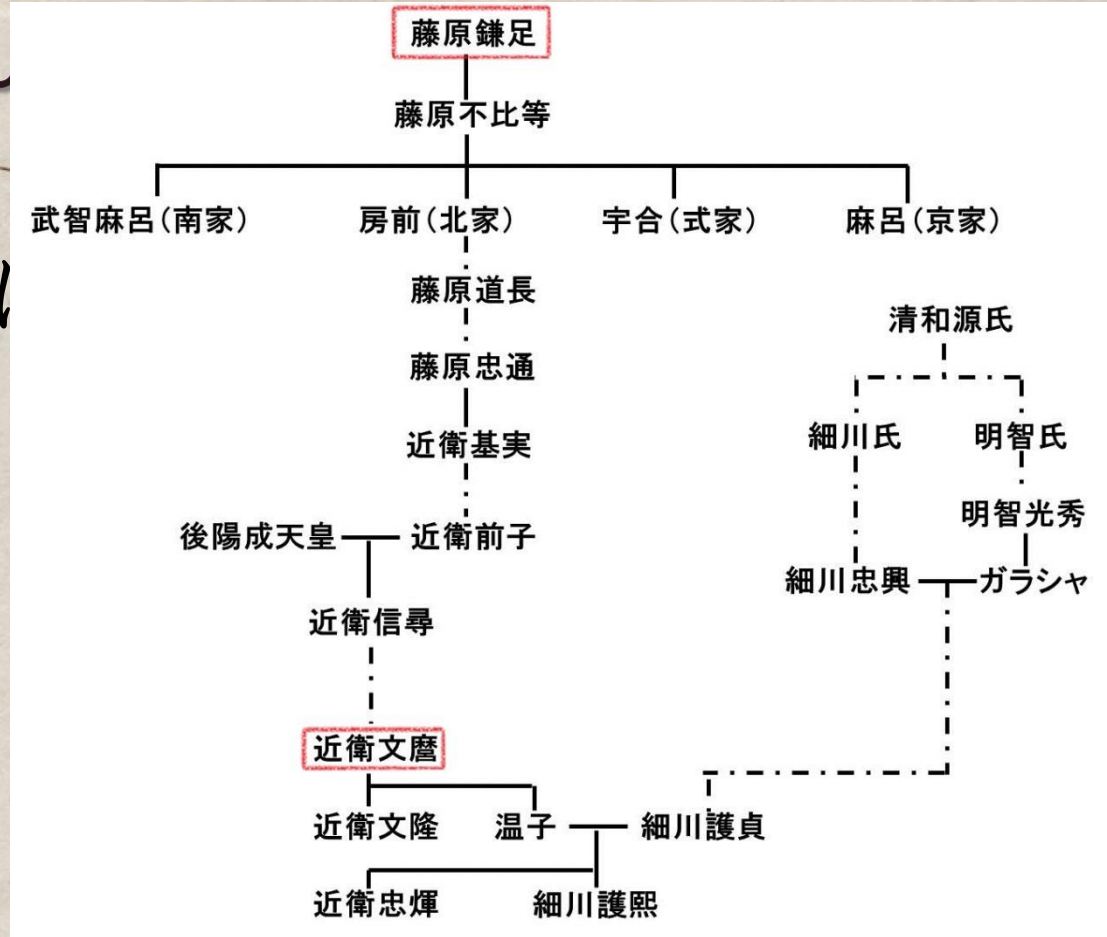
木戸幸一



# 近衛文麿

## ◎ 貴族の家系

- ◎ 先祖は藤
- ◎ 千年余に



## ◎ 天皇との関わり

- ◎ 三度総理大臣を務めた



# 近衛文麿 ～近衛の戦争責任論～

## < 戦時中 >

**軍部**に戦争責任を集中させ、皇室を守る

## < 終戦付近 >

**昭和天皇**に戦争責任を集中させ、  
皇室(国体)を守る

# 近衛文麿

## ～昭和天皇に対する思い～

### ◎ 終戦直前の近衛の言動

「天皇(昭和天皇)には退位していただくか、戦艦に乗っていただいてもろとも戦死していただくのがよい。または自決していただければ、国民も軍も無条件降伏に納得がゆく。」

### ◎ 自殺直前の近衛の言動

「国体護持が困難になると思われるが、これこそ自分が全力を尽くしたことだし、特に近衛家に生まれた者としては、あくまで努力しなくてはならぬ」



# 木戸幸一 ～選択理由～

◎内大臣を務める



家・夕  
ける

◎天皇



退

◎木戸

# 木戸幸一 ～戦争責任についての考え～

## ◎ 近衛の自殺に対してのコメント

「とにかく敗戦の大責任を負った連中は、  
死んでしまったらそれで事がすむ  
というものではない。」

## ◎ 昭和天皇に対してのコメント

「長期的に見れば天皇の退位は必要」

「地方巡幸を繰り返す天皇は戦争責任の自覚に欠ける」

※地方巡幸…昭和天皇が戦後に全国をめぐり、国民を励ましたもの



# まとめ

## ◎ 近衛文麿

自らの家柄から来る使命感により、昭和天皇に責任を負わせれば皇室が守れると考えた

⇒昭和天皇の戦争責任は重要視していない

## ◎ 木戸幸一

昭和天皇に対し厳しい言葉を残してはいるが、昭和天皇のことを心配していた？

# 昭和天皇の戦争責任はどう問うべきであったか？

## ◎ 裁判にかける(死刑にする)

⇒ 日本国内で混乱をまねく

⇒ クーデターが起こる

## ◎ 退位させる

⇒ 責任逃れでは？

⇒ 在位したまま責任を償う

天皇不起訴は日本の将来のためには  
良い判断だった？



# 参考文献

- ◎ 『畏るべき昭和天皇』 松本健一 毎日新聞社(2007)
- ◎ 『華族たちの昭和史』 保坂正康 毎日新聞社(2008)
- ◎ 『昭和天皇の終戦史』 吉田裕 岩波新書(1992)
- ◎ 『昭和天皇 第6部 聖断』 福田和也 文藝春秋(2012)
- ◎ 『昭和天皇伝』 伊藤之雄 文藝春秋(2011)
- ◎ 『近衛文麿「黙」して死す』 鳥居民 草思社(2007)
- ◎ 『昭和天皇と近衛文麿』 庄司潤一郎